

高性能充てんカラム用ガードカラム

Shim-pack

GIST/GISS/GIS -HP (G)シリーズ

取扱説明書

■はじめに

このガードカラムfor UHPLCはインジェクターと分析カラムの間に取り付け、サンプルや移動相中の汚れから分析カラムを保護するために使用します。

カートリッジ方式を用いているため、カートリッジの交換も簡単に行えます。

本取扱説明書を良くお読みの上、正しく使用してください。

■ご使用にあたって

本製品の外観、梱包等に異常がないかを確認してください。

製品名、カラムサイズ、個数、P/N等に誤りはないかを確認してください。

■カラムの取り付け

カラムの接続方法は下記の組立て図を参照のうえ、接続してください。(①～⑧)

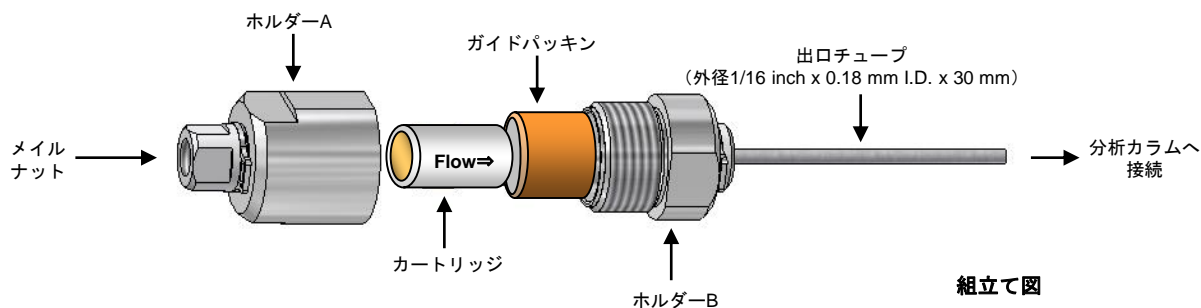
- ① ホルダーBのカラムホルダー内にガイドパッキンを入れてください。
- ② カートリッジ本体のFlow方向を確認し、ガイドパッキン内へカートリッジを入れます。
- ③ 手で回らなくなるまで締め付け、カラムホルダーAとBに12mmのスパナをあて、45～60°の増し締めを行います。

- ④ インジェクター出口側に③で準備したカラムホルダー（カートリッジ装着済み）のホルダーA側を接続します。接続には、分析カラム用以外に、別途メイルナットが必要です。接続の際には、余分な空隙が生じないように気を付けてください。なお、メイルナットは下記の製品名、製品番号で入手できます。

品名	P/N	備考	耐圧
メイルナット 1.6 MN	228-16001	1個入り	130 MPa
フェールール 1.6 F	228-16000-10	1個入り	130 MPa
UHPLCフィッティング2 S	228-56867-41	1個入り	130 MPa
Nexlockフィッティング	228-62544-90	1個入り	130 MPa

また、分析カラムサイズに適した内径の配管を使用してください。（推奨内径範囲は0.1～0.25mm I.D.です。長さはできる限り短くしてください。デッドボリュームが大きいと分析に影響します。）

- ⑤ HPLCシステムにガードカラムを接続する際は、1/4inchスパナを使用してください。
- ⑥ 本製品は乾燥状態で出荷されます。分析カラムを接続する前に、カートリッジ内部の空気抜きを行ってください。流量は1.5mm I.D. : 0.1～0.2mL/min、2.1mm I.D. : 0.2～0.4mL/min、3.0mm I.D. : 0.4～0.8mL/min通液してください。（空気抜きを行わずに分析を開始すると、分析へ悪影響を及ぼす原因となります。）
- ⑦ 出口チューブから移動相が出てくるのを確認してから、分析カラムを接続します。（カラムホルダー出口側に付属のチューブは、外径1/16inch×0.18mm I.D.×30mmとなります。）



- ⑧ 移動相を通液し、カラムホルダーAとBの間から液漏れがないことを確認してください。漏れがある場合は、ホルダーAとBを20～45° の間で増し締めしてください。

■カラムの取り扱い

本製品の推奨最大耐圧は、80MPaです。早期劣化を防ぐ為に推奨最大耐圧を超えないように注意してください。

■カラムの保管

本製品を長期間使用しない場合は、分析カラムと同様に洗浄した後、カートリッジをホルダーから外し、乾燥状態で保管してください。

本製品は温度変化が小さく、清浄な暗所に保管してください。

■テクニカルサポート

本製品は厳しい品質管理のもとで製造、検査、包装、出荷されておりますが、万一不具合がございましたら、下記の窓口までご連絡ください。

ただし、破損や寿命に関する内容、および本取扱説明書に従わないで使用して劣化したものにつきましては、保証いたしかねます。

島津シーエルシー

東日本営業課

住所：東京都台東区浅草橋5-20-8 CSタワー5F

TEL：03-5835-0120 FAX：03-5835-0124

西日本営業課

住所：大阪市東淀川区中島1-18-22

新大阪丸ビル別館 9F

TEL：06-6328-2255 FAX：06-6328-2277

<https://solutions.shimadzu.co.jp/glc/>

gsupport@glc.shimadzu.co.jp